

■西川寅吉 犯罪者, 脱獄魔。日本で脱獄を最も多く行った事で知られ, “五寸釘寅吉”の異名を取る。

にしかわとらきち

開国開港・・1854＝伊勢国多気郡上御糸村で, 被差別部落の貧農の四男に生まれる。

生まれながらに人並みを外れた運動能力を持っていたと伝わっている。

桜田門外変・1860＝6歳：

8月18日政変 1863＝9歳：

薩長同盟・・1866＝12歳：父が死去。次兄・三兄は幼くして奉公に出ていたため, 長兄の農業の手伝いをするが折り合いが悪く,

明治維新・・1868＝14歳：

学問のすすめ1872＝18歳：

明治6年政変 1873＝19歳：結婚し, ほどなく父となるが,

初の民間工場1875＝21歳：_長兄と口論の末暴行, 警察に逮捕され, 懲役2年で度会監獄所に入獄,

西南戦争・・1877＝23歳：_満期で出獄するも, 村人から冷たい目で見られて自暴自棄になり, ヤクザ仲間らと強盗未遂事件を起こして捕まり, 懲役7年の刑を受けて度会監獄所に再入獄,

明治14年政変1881＝27歳：

新体詩抄・・1882＝28歳：*出所後, 神奈川県で強盗を働き, 逮捕されるが, 横浜監獄署に移送中に看守の目を盗んで逃亡, 最初の脱獄となる。偽名を使って帰郷, 収監中に妻子が苛められた地主に復讐の暴行を働いた後, 強盗目的で質屋に忍び込んだところを発見され逃走, そのとき五寸釘の刺さった板を踏み, 激痛を抱えながら, 捕まるまで十数キロ逃げたという伝説から“五寸釘寅吉”の名がつく。強盗未遂・放火未遂・脱走罪が加算されて無期懲役となり, 三重監獄所に収監されるが, 看守の隙を見て再び脱走。まもなく逮捕されて, 北海道の樺戸集治監に送致される。脱走できぬように厳戒態勢が敷かれるなか,

国民之友始・1887＝33歳：*自らを畏敬する囚人たちの援助を得て, 構内作業中, 濡らした獄衣を堀にたたきつけ一瞬の吸着力を利用して堀を乗り越えたという。人並みはずれた彼の脚力は捜査人を翻弄。神出鬼没で, 豪商の土蔵から盗んだ金を貧しい開拓農民や出稼ぎ夫の家に投げ込んだりしたため, 庶民のヒーローのようにになるが。釧路の賭場でついに捕まる。こりずに, 冬の除雪作業中に, 仲間が投げる雪煙にまぎれるように脱走するが,

初の対等条約1888＝34歳：_函館で逮捕され, 樺戸に連れ戻されるも, 仲間が食事の飯の中に隠して差し入れた特製の合い鍵で錠をはずして逃亡。北海道を脱走し, 関西の大都市大阪の人混みの中に姿を消すが, 全国捜査網を逃れられずに, 福岡で捕まり, 空知集治監へ送られ,

帝国憲法発布1889＝35歳：*まもなく脱走するも, 体力の衰えからかすぐに捕まり, 道内の標茶集治監に入れられ,

帝国議会始・1890＝36歳：標茶集治監が網走に引越して網走刑務所になるに伴い網走へ移る。

日清戦争始・1894＝40歳：

以後は, 全く脱走を試みることなく, 良い看守に当たったこともあって一貫して模範囚であり, 最後には刑務所の敷地内を自由に移動できるほど信頼の置かれた状況となる。

Bushidou・・1899＝45歳：*東京の{都新聞}の探偵実話シリーズに“五寸釘寅吉”として取り上げられ, それが単行本になって, 全国的に有名になる。

日露戦争終・1905＝51歳：

アヲヲ創刊・1908＝54歳：

明治天皇没・1912＝58歳：

ロシア革命・1917＝63歳：

被差別部落民であったことから,

原敬首相暗殺1921＝67歳：

水平社結成・1922＝68歳：この年創立された全国水平社の関心を惹き, 水平社の機関誌{水平}第2号には輪池越智(本名楠川由久)が社会講談「叛逆児五寸釘寅吉」を載せ, {水平}が2号で廃刊になったため,

護憲三派圧勝1924＝70歳：続いて発刊された{水平新聞}の第1号以降に続きが掲載されたが, 輪池の失踪により5号で中絶している。その直後に, _高齢を理由として, ついに網走刑務所を仮出所するに至る。興行師たちが, 出所を手ぐすね引いて待ちかまえているのを知った刑務所は, 彼が利用されるのを心配し, 秘かに出所させるなど配慮を払うも, 興行師の手を振り切ることができず, {五寸釘寅吉劇団}という一座を組んで全国を巡業,

円本時代始・1926＝72歳：

_幾人もの興行師に利用されたあげく、最後には捨てられ, 故郷三重県多気郡の息子に引き取られ,

満州事変・・1931＝77歳：

芥川直木賞始1935＝81歳：

日米開戦・・1941＝87歳：安静に, _没した。

インターネット「月形町」ホームページ・Wikipediaほか,